

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

福の家

グループの名称

ふくおか長期優良住宅推進グループ

直近採択グループ番号

06-0111-0712

(グループ代表者)

代表者名	市岡 太郎	代表者印
代表者所属先	株式会社市岡	
代表者所在地	福岡県福岡市東区箱崎ふ頭4丁目3番8号	
代表者電話番号	092-641-9035	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社 住	
事務局担当者名	森 秀仁	印
事務局郵便番号	814-0165	
事務局所在地	福岡県福岡市早良区次郎丸6丁目10-21	
事務局電話番号	092-205-2200	
事務局FAX	092-205-2201	
事務局担当者E-mail	jyu@jcom.home.ne.jp	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		11	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	11	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)									
E. 平成29年度の執行状況(必須)									
長寿命型(長期優良住宅)									
採択戸数		2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
採択戸数		1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
採択戸数		0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数		2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
優良建築物型									
採択棟数		0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
採択床面積		0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²

交付申請が確実な物件に対して、未経験施工店を優先に配分。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 福の家	(地域型住宅供給対象地域) 全九州及び山口県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ふくおか長期優良住宅推進グループ	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0111-0712	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○LOW-Eガラスを使用する。 ○住宅版BELS☆3以上を取得する。 ○高効率給湯器の標準仕様	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○耐震等級2以上を取得する。(長寿命のみ)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	太宰府市景観条例より以下を適用する。 ＜屋根＞ ・色彩は周囲の山並みと調和した明度、彩度がともに低い黒系、茶系、鼠色系とし、金属板葺き屋根の場合は光沢の少ない落ち着いたものとする。	◎
④①～③の背景	○温暖で夏期において多雨な太平洋側気候の一面を見せつつ、冬期においては日本海側気候の一面も見せる二面的な気候が特徴。冬期の気候は、北側の玄界灘を流れる暖流である対馬海流の影響を受けるので、温暖である。 ○平成28年4月14日、4月16日に熊本県熊本地方を震央とする震度7の『熊本地震』が発生し、福岡県でもこの余震とみられる地震が発生した。福岡市を南東部に走る『警固断層』が有り、平成17年に福岡県西方沖地震(M7.0)が発生した。『警固断層』は国内の活断層の中でも地震発生率が高いと言われている。 ○九州は森林面積が九州全土の約6割を占め、木材生産量も多く、日本を代表する林業地域である。九州はスギ・ヒノキの素材生産量も高く、木材の自給率も九州は高い。しかしながら、林業担い手の高齢化問題もあり、森林荒廃への危機感も高まる。また、今回の熊本・大分地震が、林業関係者に与えた影響も大きいのが、九州全体で良質な九州産材木材の活性化に促す。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 屋根下地: 構造用合板 12mmとする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 構造用合板(屋根下地)	◎
①-3 標準仕様の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ代表が遮熱シートを一括購入	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ代表がクラウド上にUPする事により、合理化を図っている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ代表中心に構成済み。年1回開催	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ代表が受給状況を早期確認と供給状況の早期確認欠品等 ― 情報を発信する。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工標準図を基に施工する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで定めた共通チェックリストを基に、上棟後合法木材の確認及び竣工後に施工業者がお施主様と共に検査を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通見積書を使用してエンドユーザー様に提出を行う。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各柱にグループ専用のシールを貼り、現場にグループの看板やポスター等を設置する。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 健康診断を呼びかける。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループで作成しているチラシやHPの更新を行う。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 福の家	(地域型住宅供給対象地域) 全九州及び山口県		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ふくおか長期優良住宅推進グループ	(結成年) 2012 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0111-0712			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅蓄積情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○住宅履歴情報蓄積の義務化。 ○維持保全計画書の作成と活用および、メンテナンス実施時期の明文化(1年・3年・5年・10年・20年・30年)。 ○住宅履歴情報をグループ代表が推薦する第三者機関へ登録し、蓄積する。 ○住宅履歴情報をCD-Rにし、グループ代表にて保管する。	◎	
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関へ登録する。	◎	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 登録証等の写しを事務局に報告する。	◎	
	② 基準のメンテナンス	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンテナンスのグループ共通チェックシート	◎	
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事前事後の写真を撮影し、履歴情報に蓄積する。	◎	
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検補修後 事務局に報告する。	◎	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木工教室を年2回以上開催する。	◎	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員を主とした維持管理検討委員会を設置している。年1回以上開催	◎		
	⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当該物件の引き渡し時に「住宅金融普及協会」発刊の『住まいの管理手帳―戸建編―』をエンドユーザー様へ配布する。	◎		
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○引渡し後、施工業者の廃業等が発生した場合に備えて、お施主様にメンテナンスやリフォームの相談をグループのホームページを通し活用して頂く様にする。 ○エンドユーザー(建築主)様に対して、引渡し終了後、グループより証明書を発行する。	◎	
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵保険機関に依頼し、勉強会を年1回以上開催する。	◎	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	城東テクノ株式会社が実施している「しろあり保証制度」に登録する。		○
	エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○長期優良住宅・本事業の実務者向けや営業担当者向けの説明会・勉強会を行う。 ○エンドユーザーに対して、長期優良住宅や低炭素住宅、本事業の説明会を行い、未経験施工業者のバックアップ強化を図る。	◎		
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通→施工業者の商品搬出・納入時に各業種間において検品を行う。	◎		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ代表にて納品書サイン等にて行う。	◎		
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 前年までを考慮し、グループ代表にて年に一度需給計画を策定する。	◎		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 耐震を備えた住宅を目指す為、様々な観点での研修会を年2回以上開催する。	◎		
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各業種間において、上記にかかる部分の合理化を図る会合を年2回以上開催	◎		
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員参加人数 昨年度までの終了者数 18 今年度の参加目標人数 5	◎	
		①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 5	◎	
		② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会開催情報を事務局よりグループ構成員へ通知する。	◎	
	c	① 新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:				
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	<small>（地域型住宅の名称）</small> 福の家	<small>（地域型住宅供給対象地域）</small> 全九州及び山口県
2. グループの名称・結成年月（必須）	<small>（グループの名称）</small> ふくおか長期優良住宅推進グループ	<small>（結成年）</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0111-0712	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>＜認定低炭素住宅＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1). 様式3-1～3-3のグループ共通ルールに則る。 2). 高効率給湯器を使用する。 3). 住宅版BELSの☆3以上を取得する。 <p>＜性能向上計画認定住宅＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1). 様式3-1～3-3のグループ共通ルールに則る。 2). 高効率給湯器を使用する。 3). 住宅版BELSの☆3以上を取得する。 <p>＜ゼロ・エネルギー住宅＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1). 様式3-1～3-3のグループ共通ルールに則る。 2). 高効率給湯器を使用する。 3). 住宅版BELSを取得する。 <p>＜優良建築物＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1). 様式3-1～3-3のグループ共通ルール内の様式3-2 ウ a欄と様式3-3 オ c欄は除外する。 2). BELS☆3以上を取得する。 		

※） 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。